

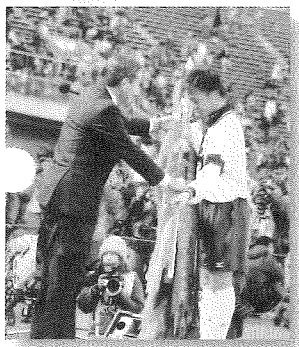
Soccer News Shiga

サッカーニュースしが

【発行】(社)滋賀県サッカー協会
 【責任者】専務理事 奥村 弘
 〒524-0212 滋賀県守山市服部町2439
 野洲川歴史公園サッカー場内
 TEL 077-585-0982
 FAX 077-585-0983
 e-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp
 URL http://www.shigafa.com
 【印刷】株式会社スマイ印刷工業

第84回全国高等学校サッカー選手権大会

全国制覇!! 野洲高校!!



大会優秀選手
 青木孝太がU-19
 日本代表遠征に参加
 (1/22~2/1 カタール国際ユース親善大会)

野洲高校 監督○山本 佳司

滋賀県サッカー協会はじめ県民の皆さまの大きな後押しのお陰で、第84回全国高校サッカー選手権大会において優勝することができました。

この優勝は、選手の努力もさることながら、ジュニア、ジュニアユース年代の育成にご尽力いただいた関係者の方々やトレセン活動等に携わった多くのサッカー関係者の方々の御指導のたまものであり、滋賀県サッカー関係者全員の勝利であると言っても過言ではありません。

応援して下さった皆さまに心から感謝するとともに、滋賀県サッカーのさらなる発展に寄与できるよう努めていきたいと思ひます。

野洲高校サッカー部主将○金本 竜市

滋賀県に初の優勝旗をと、誓って臨んだ全国大会。その言葉を実現できたことを非常にうれしく思ひます。この結果が滋賀県サッカー界のさらなる発展につながればいいと思ひます。滋賀県民のたくさんの方々からの激励のお言葉、会場に足を運んでくださった方々。本当に僕達にとってどれほど力になったか計り知れませんが、そんな県民の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

大会登録メンバー

監督○山本佳司
 コーチ○岩谷篤人
 キーパー○野田幸宏
 部長○水谷智宏
 コーチ○北村仁史
 トレーナー○榎野哲也

背番号	ポジション	名前	学年	中学年代登録チーム	小学年代登録チーム
1	GK	下西 要	3年	セゾン	セゾン
2	DF	上田 大輔	3年	セゾン	セゾン
3	DF	☆田中 雄大	2年	野洲クラブU-15	三上JSC
4	DF	荒堀 謙次	2年	野洲クラブU-15	三上JSC
5	DF	内野 貴志	3年	京都Jマルカ	ユーノスFC
6	MF	前川 賢司	3年	アズー滋賀	三上JSC
7	MF	☆橋神 順平	3年	セゾン	野洲JFC
⑧	MF	金本 竜市	3年	セゾン	セゾン
9	FW	☆青木 孝太	3年	セゾン	桐原JFC
10	MF	☆平原 研	3年	セゾン	セゾン
11	FW	平石 竜真	3年	野洲北中	北野SC
12	FW	瀧川 陽	3年	セゾン	大津JFC
13	DF	国領 元雄	3年	セゾン	湖東ひばりFC
14	MF	☆乾 貴士	2年	セゾン	セゾン
15	MF	小林優太郎	3年	エランドール	ラーゴ
16	MF	小林 修士	3年	セゾン	大津JFC
17	GK	左近上 卓	3年	セゾン	金城SSS
18	MF	廣瀬 直弥	2年	淡海	河西小
19	MF	中川 真吾	3年	彦根中央中	金城SSS
20	GK	小霜 百祐	3年	野洲北中	
21	MF	藤井 研	3年	セゾン	菩提寺
22	MF	芝 俊明	2年	立花ジュニオール	立花サッカークラブ
23	FW	山田 晃平	2年	セレッソ大阪	セレッソ大阪U-12
24	MF	村田 和哉	2年	淡海	河西小
25	FW	池田 卓也	1年	京都Sレジョーネ	FC鷹峰

☆大会優秀選手

試合結果

1回戦	2	(1-0)	0	修徳(東京B)	【得点者】 乾・青木
2回戦	3	(1-1)	2	四日市中央工(三重)	【得点者】 青木・金本・乾
3回戦	4	(2-0)	0	高松商(香川)	【得点者】 青木・オウンゴール 橋神・平原
準々決勝	1	(0-0)	1	大阪朝鮮(大阪)	【得点者】 瀧川
準決勝	1	(0-0)	0	多々良学園(山口)	【得点者】 瀧川
決勝	2	(0-0)	1	鹿児島実業(鹿児島)	【得点者】 荒堀・瀧川

県勢の過去の記録

準優勝

79回大会(2000度) 草津東高校
 20回大会(1938度) 滋賀師範学校

第3位

73回大会(1994度) 守山北高校
 61回大会(1982度) 守山高校
 22回大会(1940度) 滋賀師範学校

ベスト8

81回大会(2002度) 野洲高校
 78回大会(1999度) 草津東高校
 58回大会(1979度) 水口高校
 44回大会(1965度) 甲賀高校
 40回大会(1961度) 甲賀高校

2005年度



滋賀のサッカー大躍進!!

—今年度のおもな記録—

1 種

●ルネス学園甲賀 全国大会で全国2連覇(県勢初)!

—第15回 全国専門学校サッカー選手権大会: 10月11日~16日(長野県菅平)—

●ルネス学園甲賀 関西社会人リーグ2部リーグ3位で残留

●びわこ成蹊スポーツ大学 天皇杯で3回戦進出(県勢初)!

—第85回 天皇杯全日本サッカー選手権大会
: 9/17・19(福井テクノ)、10/9(山梨県小瀬)—

●びわこ成蹊スポーツ大学 関西学生リーグ1部残留



2 種

●滋賀高校選抜 国体で第3位入賞!

—第60回 国民体育大会 少年男子の部
: 9月9日~13日(岡山県倉敷市)—

●草津東高校 近畿大会で近畿2連覇!

—第58回 近畿高等学校サッカー選手権大会
: 6月25日~27日(和歌山市)—

3 種

●甲南中学校 全中で第3位入賞(県勢初)!

—第36回 全国中学校サッカー大会
: 8月19日~24日(愛知県豊田市)—

●甲南中学校 近畿大会で優勝!

—第54回 近畿中学校総合体育大会サッカー競技
: 8月7日~8日(京都府太陽ヶ丘)—

女子

●栗東FCリブロ 関西女子サッカーリーグに昇格!

—2005年度関西女子サッカーチャレンジリーグ1部で優勝—

フットサル

●JOY FUTSAL CLUB KIMURA SPORTS 関西フットサルリーグへ昇格(県勢初)!

—関西フットサルチャレンジリーグ2006の決定戦で勝利: 2006年1月22日(兵庫県淡路五色)—

●AC SFIDA 関西大会で優勝!

—第11回全日本ユース(U-15)フットサル大会関西予選: 8月28日(和歌山)—

(社)滋賀県サッカー協会の特別事業

【キャプテンズ・ミッション関連】

1

SFAキッズプロモーション

キッズ・プログラムのモデルF A 仕上げの3年目として200名のキッズリーダーの養成を行い、180以上の幼稚園・保育園・小学校へ2400回におよぶコーチ派遣事業を行ってきました。キッズフェスティバルは、U-6・U-8・U-10の15回を実施、中でも皇子山陸上競技場で開催したユニクロ・キッズサッカーは1000人規模の参

M3：JFAキッズプログラムのモデルF A（パイロットF A）として2003（H15）年度から2007（H19）年度まで、M5：キッズ年代エリート教育のリードF Aとして今年度から2007（H19）年度まで補助を受け実施。松本副会長を中心にキッズ委員会で推進。

加者があった。また、エリート・プログラムのリードF Aとしてキッズ・アカデミーU-6・U-8対象にビッグレイクで立ち上げました。4月からビッグレイクに加え、湖西・甲賀・湖東・湖北の各アカデミーを立ち上げることにしています。キッズ・プログラムも継続して拡大してまいります。

2

中学生年代の活性化

「中3プロジェクト」中3年生後期の活動保障を今年度も栗東F Cにお願いして実施しました。今年度は、栗東市内の中学校以外にも参加者が多く、27名の中3年生が参加しました。毎週水曜日JRAトレセンランドで18:00よりトレーニングを行い、鹿児島実業高校や県内の高校にお願いして練習試合等を組みました。冬場は、栗東市民フットサル大会に参戦しています。中3年生は、一部の選手を除いて、その多くは引退もしくは活動が停止されます。そのプランクを何とか解決できないかという思いで取り組んだ事業ですが、練習場所や指導者の確保など多くの課題を抱えています。来年度は、ビッグレイクを主会場に、中3年生だけでなく、中学生全学年

M4：中学生年代の活性化トライアルF Aとして2004（H16）度から2006（H18）年度まで補助を受け実施。安土理事（3種中体連）を中心に推進。

を対象としたサッカースクールを展開する予定です。まだ細かな内容等は検討中ですが、できるだけ意欲のある多くの選手たちに参加しやすい環境を考えていきますので、よろしくお願いします。

GKプロジェクトは、トレセンコーチによる各地域巡回指導と、ビッグレイクにおけるGK教室を実施しました。多くの選手たちが参加し、熱心にトレーニングを行いました。普段なかなか専門的な指導が受けられないGKにとっては、大変有意義な機会ではなかったかと思われます。来年度も同様のプロジェクトを組みたいと思います。

3

女子サッカーの活性化

今年度2年目となる「女子トレセン活動の充実」は、昨年度のプランの継続と発展を目標に取り組んできました。女子トレセン活動も県内に活動している選手たちの把握から始まり、年2回の選考会の実施、月2回程度の練習会、関西トレセンや各種大会への参加など大変充実した1年でした。昨年度から作ったトレセンジャージも、選手たちは誇りを持って着用し、小学生年代の女子にとってはあこがれの象徴にもなり

M6：女子サッカーの活性化トライアルF Aとして2004（H16）年度から補助を受け実施。安土理事（3種中体連）を中心に推進。

つつあります。今年初めて行われた女子ナショナルトレセンにも、本県から1名ですが関西代表として選出することができました。キッズからの一貫指導の中で女子の選手育成は大きな柱の一つです。将来のなでしこジャパンを滋賀から数多く排出できるよう、これからも取り組んでいきますのでよろしくお願いします。

4

フットサルの活性化

今年度 JFAフットサル事業において各種別普及事業の企画をJFAに申請をおこなった結果、今年度を含む3年間に亘り企画を承認していただきました。今年度1種に関しては、12月4日と11日に計画、2種に関しては、12月18日に計画しまし

M7：フットサルの普及・推進トライアルF A制度に採用され、今年度から2007（H19）年度まで補助を受け実施。山本理事（フットサル委員長）を中心に推進。

たが、両日とも雪の影響の為、延期になり3月12日に1種、19日には、2種を予定しています。来年度は1種から女子まで開催できるようにしたいと思っています。

5

県内サッカー・フットサル施設の調査と向上

・県下約300ヶ所の多目的広場、体育館の現状調査を4種各ブロック中心に実施、集約し、滋賀県サッカー協会公式ホームページ内の「ピッチファインダー」に掲載し、施設の利用促進を図る。

M9：地域／都道府県協会の活性化事業チャレンジF Aとして2004（H16）年度から2006（H18）年度まで補助を受け実施。北村常務理事を中心に施設調査委員会で推進。

・各施設の環境評価指数を算出し、少年用サッカーゴール等施設設備の充実を図り、指数を30%向上させる。

6

郡市サッカー協会との連携

「地域・都道府県協会の活性化：都道府県協会の組織機構改革と未登録チームの登録・推進」に関わり、本協会においても同様の取り組みを行った。
(1)郡市サッカー協会の実情を把握するためのアンケート調査の実施。10協会から回答を得た。

M9：地域／都道府県協会の活性化として今年度から補助を受け実施。前田常務理事（事務局長）を中心に推進。

(2)郡市サッカー協会の代表に集まっていただき、「郡市サッカー協会連絡協議会」を2回開催した。
(3)県内の未登録チーム（1種）に対し、実情を把握するためのアンケート調査の実施。40チームから回答を得た。

7

野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイクの活用状況

サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備助成（助成区分B）に2004年3月末に採用され、守山市とともに活用推進。

10月1日に野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」のBピッチ（人工芝・観覧席）がオープンしました。そして12月1日にはAピッチ（人工芝）もオープンし、毎日キッズの育成からシニア年代までの多くの方が利用されています。毎週土日には、各種別の競技大会が開催されています。

また競技だけでなく、滋賀スポーツクラブのスクール活動事業や、各種別県・地域トレセン、ナショナルトレセン、指導者講習会などの普及・育成・強化活動でも利用されています。ナショナルトレセンU-12（12月23日～26日）では、日本サッカー協会から井原正巳氏をはじめ各スタッフが来場され、レベルの高い指導がなされました。

た。子どもたちのサッカーに対する意識も高くなり、このビッグレイクの環境のなかから将来のJリーガー、日本代表選手が誕生するの夢ではありません。

来年度からはCピッチ（天然芝）もオープンになり、3面同時使用が可能となります。クラブハウス内の更衣室やサロンのルームも利用でき、気持ちよくスポーツできる環境を整えています。

今後ともより充実した環境と、より質の高い戦いが繰りひろげられるでしょう。さらに、これからの滋賀県サッカー界の競技力向上、スポーツ文化の発展が大いに期待されます。

8

スポーツクラブ創設事業

■滋賀スポーツクラブ クラブマネージャー 杉本聡

今年度、滋賀スポーツクラブ（以下滋賀SC）を立ち上げ、ビッグレイク（野洲川歴史公園サッカー場）を拠点に活動しました。

スポーツクラブとしての活動は小規模で、月1回のスポーツ教室（U-10対象）、週1回のキッズアカデミー（U-6、8対象）、月2回のGK基礎教室（中・高校生対象）などを実施しました。すべてスポーツの普及・選手の育成を中心に、スポーツ人口の増加を目指して活動してきました。参加人数も多く、充実した活動ができました。

来年度は少しずつ規模を広げ、さらに充実した内容が提供できるよう頑張っていきたいと思っています。

またスポーツクラブの一つとして、滋賀FCが県リーグ1部から参戦させていたいただきました。滋賀県からJリーグを目指すチームとして活動し、まずは関西リーグへの昇格を目指しこの1年戦いました。しかし、残念ながら関西府県リーグの初戦で敗戦・・・戦いの厳しさをつくづく感じました。

多くの方々に応援、サポートしていただいたことを心から感謝します。来年度こそ、昇格を果たし、一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。これからも皆様方のご支援を賜り、頑張っていきたいと思っていますので、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

■滋賀FC 監督 松下哲弘

2005年4月から、守山市内のグラウンドや野洲川歴史公園グラウンド（通称ビッグレイク）を活動の拠点とし、皆様のご理解、ご協力のもと、関西リーグ昇格を短期目標に活動してきました。本当にありがとうございました。

さて、今年度の結果を振り返りますと、滋賀県社会人1部リーグでは3位、府県リーグ出場をかけた上位4強リーグでは、1位通過し、府県リーグに臨んだ滋賀FCですが、力及ばずリーグ戦での敗退となりました。

これは、全て監督である私の責任と痛感し反省しております。

今年度からは、再び滋賀県社会人1部リーグからのチャレンジとなりますが今年度の反省点を踏まえ、監督の外部招聘、及び練習量の充実を2本柱に、新たな体制で臨んでいく所存ですので、変わらぬご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

最後に、私は子を持つ親として、滋賀県に高いレベル（Jリーグ）のチームが存在しその選手が滋賀県出身であることが、子どもたちにとって励みになり、目標となることは間違いないと確信しております。

そのために日々鋭意努力する所存です。

滋賀F Aフットサルの活動状況

滋賀県サッカー協会のフットサル委員会（山本昭治委員長）で2003年度からフットサル競技や大会の事業展開を本格的に推進し、ようやく滋賀F Aフットサルが軌道にのってきました。その成果が競技力向上にもつながり、今年度はフットサル全国大会に1種、3種、4種すべての大会の出場を果たすことができました。フットサル委員会の現状についてまとめます。

1種

社会人年代は、2004（H16）年度からフットサルの県リーグ戦を立ち上げ12チームからのスタートでさくり状態で開催しましたが、参加してくれたチームは、選手達のフットサルに対しての思いが強くあり2004年度成功に終わりました。2005年度は、チームからの呼びかけもあり16チームで前年度の成績により2部制での開催となりました。1部リーグ戦で優勝したJOY FUTSAL CLUB KIMURA SPORTSが、関西参入戦にチャレンジして、昨年は敗退しましたが、今年度は、見事関西リーグ戦に進むことになりました。今後は、県内リーグのチーム数を増やしていきたいと思っています。

2種

高校生年代に関しては、全国につながる大会がないため、認識不足のところはありますが、今後は、普及事業での企画で、多くのチームが参加できるように取り組んでいきたいと思っています。

3種

中学生年代に関しては、全国大会の予選となる関西大会において2004年度、2005年度と2年連続優勝して関西代表となっています。県内での予選では参加チームが少ないので、今後は、多くのチームが参加できるように、関係の方と取り組んでいきたいと思っています。

4種

小学生年代に関しては、1県1チームが全国大会に参加できるパーモントカップが開催されていますが、年々少しずつですが参加チームは増えてはいますが、全体としては少ないので何らかの形で取り組みをしていきたいです。

女子

女子種別に関しても全国大会につながる大会は開催されていますが、参加チームがわずかなため盛り上がりにかけています。今後は、関係の方と連絡を取りながら参加チームを増やしていきたいと思っています。

フットサル委員会では、誰もが、どこでも、参加し楽しめるようなフットサルにしていきたいと思っています。それには、施設（体育館での使用）での問題などありますが、各施設と協力をしながら少しでも楽しんでもらえる環境づくりに努力したいと思っておりますので、各種別の方々の今後の協力をよろしくお願いします。

フットサル全国大会出場の3チーム

◎JOY FUTSAL CLUB KIMURA SPORTS

1/27～1/29、2/4～2/5

プレミアカップ2006 第11回 全日本フットサル選手権大会に出場

■結果

予選リーグ（1月27・28日）

Dグループ	Forca	セレゾン	JOY	SPORVA21	順位
Forca Verde/BANFF（関東代表／東京都）		100	201	301	1位
IBFOXセレゾン浜松フットサルクラブ（日本施設連盟選手権大会／静岡県）	001		304	204	4位
JOY FUTSAL CLUB KIMURA SPORTS（関西代表／滋賀県）	102	403		104	3位
SPORVA21（九州代表／福岡県）	103	402	401		2位

■チーム紹介

JOY FUTSAL PLAZAのクラブチーム。結成1年目で湖南地域のメンバー中心に構成。練習は火曜日（JOY FUTSAL PLAZA）、木曜日（野洲総合体育館）



■成績

- 2005.10.9 県リーグ1部、JOY FUTSAL CLUBは無敗で見事1位に!! 関西リーグチャレンジ権を獲得。2006年1月の入れ替え戦へ。
- 2005.11.3 全日滋賀県予選優勝、全日本フットサル選手権関西予選へ。
- 2005.11.26 全日関西予選でCASCABEL KANSAI（奈良代表）と京阪フットサルプレイスfunf bine（京都代表）のリーグ戦を1位通過!! 全国大会へ出場決定!
- 2006.1.22 関西チャレンジリーグ予選を見事1位で突破し、入れ替え決定戦へ!! 決定戦ではAzzurro（和歌山）を1-5で敗り関西リーグ参入決定。見事念願の関西リーグへ!!

■スタッフとメンバー

- 監督：柚木 聡 享
コーチ：藤岡 祐
コーチ：藤澤 克至
- 1 F P：杉浦 佑紀
2 F P：坪 勝則
3 F P：中村 真人
4 F P：山本 俊介
5 F P：猪田 暢仁
6 F P：大根 泰弘
7 F P：三石 晃司
8 F P：潮崎 裕介
9 F P：大谷 純一
10 F P：大谷 真一
11 F P：作田 泰規
12 G K：澤田 貴宣
13 F P：長束 卓
14 F P：成田 淳
15 G K：福山 準一

◎AC_SFIDA

1/7～1/9 第11回 全日本ユース（U-15）フットサル大会に出場

■結果

一次リーグ（1月7・8日）

Aグループ	A1	A2	A3	A4	順位
A1 札幌ジュニアFCユース（北海道）		803	602	1208	1位
A2 千葉サッカーユース（千葉）	308		604	506	3位
A3 AC_SFIDA（滋賀）	206	406		1011	4位
A4 琉球大学教育学部付属中学校（沖縄）	812	605	11010		2位

■コメント

今年の3年生は1年生の時からサッカーと平行して、フットサルにも本格的に取り組んできました。結果、彼らの技術進歩は目覚しく、県大会や関西大会でも危なげなく優勝する事が出来ました。全国大会前には監督自らフットサルの勉強のためにイタリアへ赴き、フットサルのイタリア代表やAS ROMA、SS LAZIOのフットサルのプロチームの監督やコーチ、イタリア代表の選手達から様々な事を直に学び、帰国後すぐに子ども達にそれらを還元しました。試合内容は、選手本人はもちろん試合を観戦する人達にも面白いと感じてもらえる、良いゲームだったと思います。しかし、予選3試合を通してシュート数・ボール支配率共に相手チームを上回っていたもののゴールに嫌われ、思うように得点する事が出来ませんでした。逆にアンラッキーな失点が目立ち、最後まで粘るものの惜敗。「これがフットサルなんだな」と競技の厳しさを改めて感じました。全国大会全般的には、チームとして無駄なものを削ぎ落として勝負のみに絞らねばならない戦いをするチームが多かった事とキラリと光る選手がほとんどいなかった事が、非常に残念でした。だからこそAC_SFIDAのフットサルのスタイルで結果を出したかったのですが、目標が達成できず非常に残念です。来年リベンジできるようにこれからも精進していきたいと思っています。AC_SFIDA Junior youth

■スタッフとメンバー

<登録メンバー>西口諒、竹原大地、西村茂、荒尾佳洋、山元勝弘、山本篤、林晃佑、上数拓也、田中琢巳、川井優也

<スタッフ> ◎代表-平井千尋 ◎監督-村田稔 ◎コーチ-雨宮英巨、山田拓生

◎大石スポーツ少年団サッカー部

1/4～1/6 パーモントカップ 第15回 全日本少年フットサル大会に出場

■結果

1次リーグ（1月4日）

グループO	O1	O2	O3	順位
O1 フッチサッカーユース（千葉）		1203	907	1位
O2 大石スポーツ少年団サッカー部（滋賀）	3012		303	3位
O3 久枝サッカースポーツ少年団（愛媛）	709	303		2位

フレンドリートーナメント（1月5・6日）

グループM	多井畑フットボールクラブ（兵庫）	7
グループN	八幡台ジュニアサッカーユース（和歌山）	6
グループO	大石スポーツ少年団サッカー部	3 PK 3
グループP	サンフレッチェ広島FCジュニア（広島）	3 PK 1

■スタッフとメンバー

- 大会参加メンバー
代表：中山 勝則
監督：杉本 毅
コーチ：橋本 恵介
- 1 GK：藤澤 将史
2 F P：北村 周也
3 F P：野中 捷矢
4 F P：松岡 出海
5 F P：大内 雄斗
6 F P：三田 康平
7 F P：中田 健登
8 F P：森 直樹
9 F P：見塚田真寛
10 F P：中山 幸輝
11 F P：新谷 竣
12 F P：中村 幸亮
13 F P：古澤 優弥
14 GK：山本 将大

■コメント

“夢”の「全国」

大石スポーツ少年団サッカー部代表
中山 勝則



「みんな東京へ行こう!」子どもたちと語り合った“夢”が現実となり、この度、パーモントカップ第15回全日本少年フットサル大会・全国決勝大会に出場させて頂きました。

フットサルの「メッカ」駒沢体育館で行われた全国決勝大会は、まさに“夢”のような3日間でした。初日、グループリーグ初戦でフッチSC（千葉）に3-12と大敗し、全国トップレベルとの差を痛感させられ、2戦目の久枝SS（愛媛）はリズムに乗れないままの前半3失点を後半盛り返すも逆転できず3-3の引き分けで、初陣の厳しさを思い知らされました。2日目、フレンドリートーナメント1回戦はサンフレッチェ広島ジュニア。この試合は伸び伸びとプレーでき、3-3の同点に追いつかれるもPK3-1で「湖国の大石っ子」「紫熊ジュニア」に勝利する大金星をあげることができました。3日目、2回戦は大会前の関西社行試合で勝った多井畑FC（兵庫）にラスト30秒で2点奪われ2-3の逆転負けし、優秀チーム賞を逃がす悔しさを味わいましたが、全ての試合が素晴らしい体験となりました。

また、感動的な開会式や元日本代表の北澤 輝選手等とプレーできたエキシビジョンなど、子どもたちにとって生涯忘れることのない思い出も数多くできました。

物心両面のご援助頂き、ご指導頂きました滋賀県サッカー協会ならびに県内関係者の皆様に、心より厚くお礼申し上げます。